

町民からの要望にどう応える

町長「打てば響く町政」を推進し、真摯に丁寧に対応していく



録画を配信



金田 悟議員

打てば響く町政

問 打てば響く町政とは。

町長 初当選をさせていただいたときから現在まで、町民の皆様にお示ししてきた選挙公約のキャッチフレーズである。現場主義を基本としながら町民と創りあげる「共創のまちづくり」を理念とし取り組んできた。

町民からの要望

問 町民からの要望はどのように把握し、対応していくか。

町長 多方面からいただいた要望を整理し、

理し、全体を見据えて緊急性の高いものから課題解決を行っている。「打てば響く町政」を推進し、真摯に丁寧に対応していく。

問 意思決定の手順は。

町長 昨年度、区長会連合会からいただいた全体要望20件、各区長からいただいた個別要望120件の全ての要望内容は、役場内で共有し、内容に応じて所管課に振り分け、要望事項の確認・検討を行う。

対応方針については、課長会議などで調整している。

要望をどう実現するのか。

町長 各種計画との整合性、事業規模により、慎重な対応が必要なのは、「振興実施計画」の策定を経て、次年度予算編成の手順により、対応方針、具体的手法、財源、工程などを整理して予算化し、計画的に実施する。



実現してほしいなあ（まちづくり座談会の様子）

問 各地区からの要望に対する進捗状況の「見える化」は。

町長 回答書の中で、全ての要望に対し、対応の可否とその理由、事業着手見込みなどの今後の方針、代替策など詳細にお示しし、毎年継続して要望

のある事項は、これまでの経過、対応状況をお示しすることで、「見える化」に努めている。

町からの管理委託

問 町側から地区への管理委託の実態は。

商工観光課長 各公園管理等24件把握している。

問 上の台公園の今後の在り方は。

町長 地区から要望があったトイレの整備だけでなく、さまざまな歴史のある公園であり、お互いに話し合い、方向性を見出していく。

問 区長の活動実態

問 区長の活動実態をどのように把握しているか。

総務課長 町全体として、区長会連合会の会議は、全員対象は年3回程度、役員会は年4回程度。加えて、

約30団体の各種審議会等の会議がある。更に、地区及び区については、災害から福祉までさまざまなことを取りまとめていただいている。

自然災害への対応

問 毎年、同じ場所が被災している状況への対処方針は。

建設課長 現地調査を行い、対応策、解決策を検討していきたい。

問 長年の要望が実現せず転出するなど、人口減少につながると思うが所見は。

町長 根本に関わるたいへん重要な課題である。地域の活発な意見交換から、地域の課題を見つけ出し、地域推進交付金を有効に活用していただけない場合は、行政に一報いただきたい。